



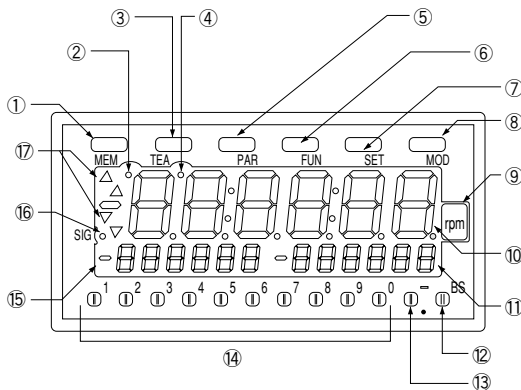
■基本部仕様

形式		DT-5TS/DT-5TL			
動作モード		回転速度計モード	流量計モード	通過時間計モード	時間幅モード
表示	その1	0~999999 6桁		0:00:00~9:59:59 (時分秒 60進表示)	0:00:00~0:59:59 (時分秒 60進表示)
	その2	—		0:00~999:99 (秒:1/100秒 10進表示)	—
小数点位置		ゼロサブレス付			
表示部		10 <sup>-1</sup> ~10 <sup>5</sup>			
入力範囲		メイン表示部:赤色7セグメントLED 文字高15mm 6桁、サブ表示部(2個):緑色7セグメントLED 文字高6.5mm 6桁+6桁 ○表示可			
計測精度		0.0067Hz~100kHz ±0.008%±1digit			
フィルタ		100kHz、30kHz、10kHz、0.02kHzをパラメータで切替。ただし、マグネチックセンサは10kHz、0.02kHzのみ、接点は0.02kHzのみ。			
表示周期		0.2、0.5、1、2、5、10、15、30、60秒(パラメータ設定で変更可能)			
プリスケール機能		前面パネルキーによるパラメータ設定方式。 表示値のティーチング(合わせ込み)も可能。			
メモリ機能		計測値の最大・最小値を記憶、サブ表示部に緑色LEDで表示する。			
上下限值		上下限値をサブ表示部に緑色LEDで表示可能。			
オートゼロ時間		0.1~150秒		0.1~3600秒	
予測演算		パルス停止後の経過時間に従って、表示値を更新。			
絶縁抵抗		10MΩ以上(DC500Vメガにて)			
耐電圧		AC1500V以上 1min			
耐ノイズ		電源端子ノーマル/コモンモード ±1500V			
耐振動		JIS C-0911に準拠 振動周波数10~55Hz、片振幅0.5mm、XYZ方向各10分間			
使用周囲温度		0℃~45℃(ただし結露のないこと)			
使用周囲湿度		35~85%RH(ただし結露のないこと)			
使用周囲雰囲気		腐食性ガスのないこと			
保護機能		前面パネルIP66(相当)、後部端子台IP20			
ケース材質		ABS樹脂			
外形寸法		W96×H48×D92mm(DIN)			
質量		300g			

※上記仕様以外に入力仕様があります。詳しくはP22~23をご参照ください。

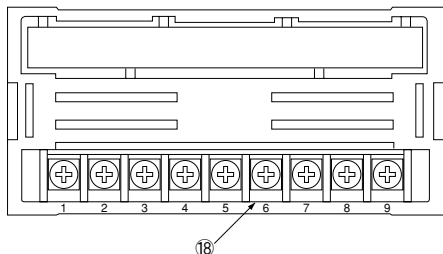
■各部の名称と働き

●前面部



No.	名称	働き
①	メモリーキー	最大値、最小値を表示するときを使用
②	メモリーモードランプ	メモリーキーを押すと点滅
③	ティーチキー	合わせ込み機能(P27参照)設定時に使用
④	ティーチモードランプ	ティーチキーを押すと点灯
⑤	パラメータキー	パラメータの設定時に使用
⑥	ファンクションキー	ファンクション設定時に使用
⑦	セットキー	パラメータ設定終了時などに使用
⑧	モードキー	各モードの選択に使用
⑨	単位シールスペース	付属の単位シールの中から必要なシールを貼付するスペース
⑩	メイン表示部	計測値を表示
⑪	サブB表示部	下限値・最小値を表示
⑫	バックスペースキー	パラメータ設定時などに使用し、桁数字の修正を行なう
⑬	マイナス・点キー	“-”表示、小数点設定、時分秒 ↔ 秒表示切替時に使用
⑭	数値入力キー	パラメータや上下限値の設定に使用
⑮	サブA表示部	上限値・最大値を表示
⑯	シグナルランプ	センサ信号入力時に点灯
⑰	上下限出力表示部	上上限値、上限値、下下限値、下限値比較出力状態を示す

●裏面部

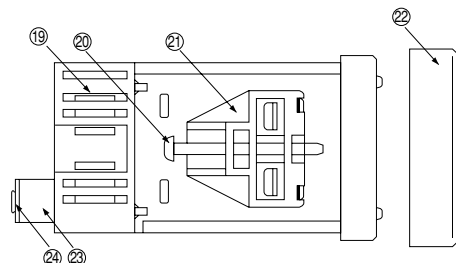


単位シール

分	PS	ℓ/h	cm <sup>3</sup> /min	m <sup>3</sup> /h	分	PS	ℓ/h	cm <sup>3</sup> /min	m <sup>3</sup> /h	FVT
秒	℃	kHz	rpm	ℓ/min	秒	℃	kHz	rpm	ℓ/min	CPT
時:分:秒	sec	min	rps	Hz	h:m:s	sec	min	rps	Hz	TRT
分:秒:秒 <sup>10</sup>	m/h	mm/s	ℓ/s	l/min	m:s:10	m/h	mm/s	ℓ/s	l/min	FVC
	%	km/s	km/h	mm/min	%	km/h	mm/min			TRC
										BCD
										RMT
										DRT
										SDT
										SDC

※1 プロテクトカバー用単位シール  
プロテクトカバーに貼付してください。  
※2 単位シールスペース用単位シール  
使用しません  
※3

●側面部



No.	名称
⑱	端子台
⑲	通風口
⑳	取付ネジ
㉑	取付アダプタ
㉒	プロテクトカバー
㉓	端子台
㉔	端子台カバー

パネルトイプ  
DT-5TS  
DT-5TL  
DT-5TX  
DT-5TF  
DT-5TG  
DT-5TP  
DT-451A

# 高機能タイプ 回転速度計・速度計・通過時間計・時間幅・流量計

基本入力シリーズ 差動入力シリーズ 電圧・電流入力シリーズ

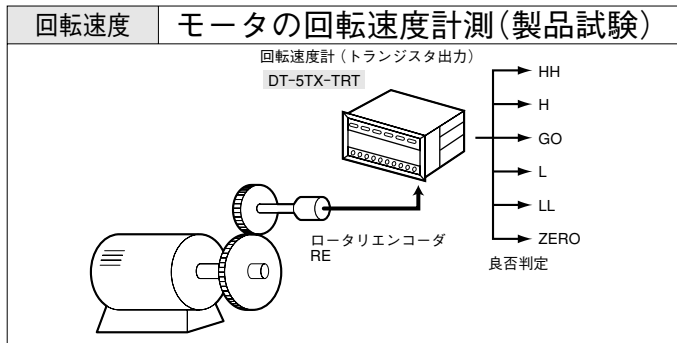
## DT-5TX/DT-5TF/DT-5TV

設定、管理が楽なW(ダブル)サブ表示器付、  
防水性を高めたIP66(相当)

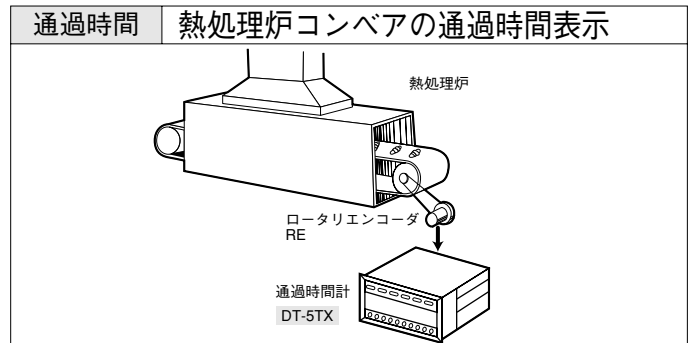
簡単設定 — より現場のニーズに応えた新形回転速度計

- マグネチックセンサ入力からラインドライバ入力、アナログ入力まで、さまざまな入力信号に対応。  
基本入力:ロータリエンコーダ、マグネチックセンサなどの各種センサに対応  
差動入力:ACサーボモータのラインドライバからの入力信号に対応  
電圧入力:タコジェネレータからのアナログ信号に対応
- 各種入出力機能の追加、変更は簡単。  
オプション基板(ボード)の差し替えでOK。(オプション別売)  
※比率入力用オプション(別売)との組み合わせで比率計にも対応します。詳細はP32~43「比率計」をご参照ください。
- 2つのサブ表示器により上下限値の表示を一目で確認。
- 防水性を高め、食品分野など水を多く使う環境にも対応。(IP66相当)
- 面倒な計算は不要で、表示値の任意変更や誤差修正を可能にする合わせ込み機能搭載。
- 100kHzの高速入力が可能。(DT-5TX、DT-5TF)
- 最大・最小値を記憶、表示するメモリ機能を搭載。

### ■アプリケーション



※出荷時には本体パネル部にプロテクトカバーが付いています。(P4参照)



### ■計測用途

●DT-5TX、DT-5TFには4つの計測モード(機能)があり、計測用途に合わせて、選択できます。

#### モード1 回転速度計モード

回転速度計、速度計として使用し、入力に比例した値を表示することができます。

#### モード2 通過時間計モード

入力に反比例した値で表示することができ、表示は時分秒と1/100秒のどちらかを選択します。  
ベルトコンベアなどの通過時間表示に最適です。

#### モード3 時間幅モード

入力信号がON(OFF)している時間を計測します。  
各種工程の時間などの測定が可能です。

#### モード4 流量計モード

パルス出力の流量計専用で、1パルス当りの流量を設定すると、瞬時流量を表示します。

●DT-5TVには、入力範囲によって6つの計測モードがあり、選択できます。

モード1 入力範囲: DC 0 ~ ±10V

モード2 入力範囲: DC 0 ~ ±1V

モード3 入力範囲: DC 1 ~ 5V

モード4 入力範囲: DC 4 ~ 20mA

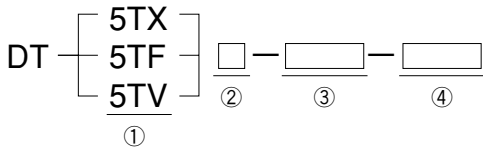
モード5 入力範囲: DC 0 ~ ±100V

モード6 入力範囲: AC 0 ~ 100V

※DT-5TX、DT-5TF、DT-5TV共に、上記以外に内部回路を自己チェックするテストモードがあり、選択できます。

※モードNo.は、モードを選択する際に必要なNo.です。

■形式



①入力種類

記号	入力種類
5TX	基本入力
5TF	差動入力
5TV	電圧・電流入力

②使用電源

記号	使用電源
A	AC電源 (AC85~264V)
D	DC電源 (DC9~35V)

※DC仕様はDT-5TXのみとなります。

③第1オプション(端子台入出力)

記号	機能
FVT	アナログ信号(電圧・電流)出力
CPT	リレー出力
TRT	トランジスタ出力
RMT	外部信号入力

④第2オプション(コネクタ出力)

記号	機能
FVC	アナログ信号(電圧・電流)出力
BCD	BCD出力

■DT-5TX/DT-5TF/DT-5TVシリーズ一覧

本体	入出力形態		形式※2	
	第1オプション	第2オプション	AC電源仕様	DC電源仕様
※1 基本入力	—	—	DT-5TXA	DT-5TXD
		アナログ信号(電圧・電流)出力	DT-5TXA-FVC	DT-5TXD-FVC
		BCD出力	DT-5TXA-BCD	DT-5TXD-BCD
		—	DT-5TXA-FVT	DT-5TXD-FVT
		BCD出力	DT-5TXA-FVT-BCD	DT-5TXD-FVT-BCD
		—	DT-5TXA-CPT	DT-5TXD-CPT
	リレー出力	アナログ信号(電圧・電流)出力	DT-5TXA-CPT-FVC	DT-5TXD-CPT-FVC
		BCD出力	DT-5TXA-CPT-BCD	DT-5TXD-CPT-BCD
		—	DT-5TXA-TRT	DT-5TXD-TRT
		アナログ信号(電圧・電流)出力	DT-5TXA-TRT-FVC	DT-5TXD-TRT-FVC
		BCD出力	DT-5TXA-TRT-BCD	DT-5TXD-TRT-BCD
		—	DT-5TFA	—
※1 差動入力	—	アナログ信号(電圧・電流)出力	DT-5TFA-FVC	—
		BCD出力	DT-5TFA-BCD	—
		—	DT-5TFA-FVT	—
		BCD出力	DT-5TFA-FVT-BCD	—
		—	DT-5TFA-CPT	—
		アナログ信号(電圧・電流)出力	DT-5TFA-CPT-FVC	—
	リレー出力	BCD出力	DT-5TFA-CPT-BCD	—
		—	DT-5TFA-TRT	—
		アナログ信号(電圧・電流)出力	DT-5TFA-TRT-FVC	—
		BCD出力	DT-5TFA-TRT-BCD	—
		—	DT-5TVA	—
		※1 電圧・電流入力	—	アナログ信号(電圧・電流)出力
BCD出力	DT-5TVA-BCD			—
—	DT-5TVA-RMT			—
アナログ信号(電圧・電流)出力	DT-5TVA-RMT-FVC			—
BCD出力	DT-5TVA-RMT-BCD			—
—	DT-5TVA-FVT			—
アナログ信号(電圧・電流)出力	BCD出力		DT-5TVA-FVT-BCD	—
	—		DT-5TVA-CPT	—
	アナログ信号(電圧・電流)出力		DT-5TVA-CPT-FVC	—
	BCD出力		DT-5TVA-CPT-BCD	—
	—		DT-5TVA-TRT	—
	アナログ信号(電圧・電流)出力		DT-5TVA-TRT-FVC	—
リレー出力	BCD出力	DT-5TVA-TRT-BCD	—	
	—	DT-5TVA	—	
	アナログ信号(電圧・電流)出力	DT-5TVA-FVC	—	
	BCD出力	DT-5TVA-BCD	—	
	—	DT-5TVA-RMT	—	
	アナログ信号(電圧・電流)出力	DT-5TVA-RMT-FVC	—	
外部信号入力	BCD出力	DT-5TVA-RMT-BCD	—	
	—	DT-5TVA-FVT	—	
	BCD出力	DT-5TVA-FVT-BCD	—	
	—	DT-5TVA-CPT	—	
	アナログ信号(電圧・電流)出力	DT-5TVA-CPT-FVC	—	
	BCD出力	DT-5TVA-CPT-BCD	—	
トランジスタ出力	—	DT-5TVA-TRT	—	
	アナログ信号(電圧・電流)出力	DT-5TVA-TRT-FVC	—	
	BCD出力	DT-5TVA-TRT-BCD	—	
	—	DT-5TVA	—	
	アナログ信号(電圧・電流)出力	DT-5TVA-FVC	—	
	BCD出力	DT-5TVA-BCD	—	

※1 基本入力、差動入力、電圧入力の詳細については、P22~23の各入力仕様をご参照ください。

※2 オプション付きをご購入される場合は、上表の形式でご注文ください。

また、オプション単体をご購入される場合は、下記「オプション機能一覧」に記載している形式でご注文ください。

●オプション機能一覧

形式	機能	内容	掲載ページ
DOP-FVT	アナログ信号出力 <sup>注1)</sup>	表示値に対応する電圧・電流を出力	P29
DOP-CPT	リレー出力	リレーのC接点出力。設定値に対して、HI、LO出力ならびにGOを出力	P30
DOP-TRT	トランジスタ出力	オープンコレクタ出力。HH、HI、LL、LO、GOおよびZEROを出力	P30
DOP-FVC	アナログ信号出力 <sup>注2)</sup>	表示値に対応する電圧・電流を出力	P29
DOP-BCD	BCD出力	オープンコレクタ、BCD出力。P.L.Cとのインターフェースが簡単に可能	P31
DOP-RMT	外部信号入力	ピーク・ボトムの外部入力に使用	P31

※HH：上上限出力

HI：上限出力

LO：下限出力

LL：下下限出力

※左記オプションDOP-RMTは、DT-5TVと組み合わせた場合の機能です。

DT-5TX、DT-5TFと組み合わせる場合は、比率入力用オプションとなります。

詳しくはP36(接続図、および入力仕様)をご参照ください。

※左記以外に、RS-232C出力オプションの発売も予定しています。

注)アナログ信号出力は、電圧・電流共に出力します。

パネライタイプ  
回転速度・速度・通過時間  
時間幅・流量  
DT-5TX  
DT-5TF  
DT-5TV  
DT-5TVA  
DT-5TVA-FVC  
DT-5TVA-BCD  
DT-5TVA-RMT  
DT-5TVA-RMT-FVC  
DT-5TVA-RMT-BCD  
DT-5TVA-FVT  
DT-5TVA-FVT-BCD  
DT-5TVA-CPT  
DT-5TVA-CPT-FVC  
DT-5TVA-CPT-BCD  
DT-5TVA-TRT  
DT-5TVA-TRT-FVC  
DT-5TVA-TRT-BCD  
DT-451A

# 高機能タイプ 回転速度計・速度計・通過時間計・時間幅・流量計

基本入力シリーズ 差動入力シリーズ 電圧入力シリーズ

## DT-5TX/DT-5TF/DT-5TV

### DT-5TX/DT-5TF基本部仕様

DT-5TX、DT-5TFは用途別のモードになっています。

形式		DT-5TX/DT-5TF			
動作モード		回転速度計モード	流量計モード	通過時間計モード	時間幅モード
表示	その1	0~999999 6桁		0:00:00~9:59:59 (時分秒 60進表示)	0:00:00~0:59:59 (時分秒 60進表示)
	その2	—		0:00~999:99 (秒:1/100秒 10進表示)	—
小数点位置		10 <sup>-1</sup> ~10 <sup>-5</sup>			
表示部		メイン表示部:赤色7セグメントLED 文字高15mm 6桁、サブ表示部(2個):緑色7セグメントLED 文字高6.5mm 6桁+6桁 ⊖表示可			
入力範囲		0.0067Hz~100kHz			
計測精度		±0.008%±1digit			
フィルタ		100kHz、30kHz、10kHz、0.02kHzをパラメータで切替。ただし、マグネチックセンサは10kHz、0.02kHzのみ、接点は0.02kHzのみ。			
表示周期		0.2、0.5、1、2、5、10、15、30、60秒(パラメータ設定で変更可能) アナログ出力、BCD出力を除くオプション出力もこの周期でデータを更新する。 アナログ出力オプションは10ms、または表示周期でデータを更新する。			
プリスケール機能		前面パネルキーによるパラメータ設定方式。 表示値のティーチング(合わせ込み)も可能。			
メモリ機能		計測値の最大・最小値を記憶、サブ表示部に緑色LEDで表示する。			
上下限值		上下限値をサブ表示部に緑色LEDで表示可能。			
オートゼロ時間		0.1~150秒		0.1~3600秒	
予測演算		パルス停止後の経過時間に従って、表示値を更新。			
絶縁抵抗		10MΩ以上(DC500Vメガにて)			
耐電圧		AC1500V以上 1min			
耐ノイズ		電源端子ノーマル/コモンモード ±1500V			
耐振動		JIS C-0911に準拠 振動周波数10~55Hz、片振幅0.5mm、XYZ方向各10分間			
使用周囲温度		0℃~45℃(ただし結露のないこと)			
使用周囲湿度		35~85%RH(ただし結露のないこと)			
使用周囲雰囲気		腐食性ガスのないこと			
保護機能		前面パネルIP66(相当)、後部端子台IP20			
ケース材質		ABS樹脂			
外形寸法		W96×H48×D134mm(DIN)			
質量		300g(出力付 350g)			

※上記仕様以外に入力仕様があります。詳しくはP22~23をご参照ください。

### DT-5TV基本部仕様

DT-5TVは入力範囲別のモードになっています。

形式		DT-5TV					
モード		モード1	モード2	モード3	モード4	モード5	モード6
入力	入力範囲	DC0~±10V	DC0~±1V	DC1~5V	DC4~20mA	DC0~±100V	AC0~100V
	計測分解能	1/5000					
表示	最大設定値(表示分解能) (入力範囲の最大値のとき)	0~5000(1digit)					
		5002~10000(2digit)					
		10005~25000(5digit)					
		25010~50000(10digit)					
		50020~99980(20digit)					
小数点位置		10 <sup>-1</sup> ~10 <sup>-4</sup>					
表示部		メイン表示部:赤色7セグメントLED 文字高15mm 5桁、サブ表示部(2個):緑色7セグメントLED 文字高6.5mm 5桁+5桁 ⊖表示可					
計測精度		±0.5%(フルスケール)(入力範囲の最大値にて)					
表示周期		0.2、0.5、1、2、5、10秒ごとに表示を更新する。(パラメータ設定で変更可能)更新間の入力を平均して、その値を表示する。					
移動平均		表示周期3回、または10回分のデータを平均して表示する。					
スケールリング		2点の電圧(電流)と表示値を設定する。					
合わせ込み機能		ある入力時に表示値を設定することにより、自動的にスケールリングを行なう。					
メモリ機能		計測値の最大・最小値を記憶、サブ表示部に緑色LEDで表示する。					
上下限值		上下限値をサブ表示部に緑色LEDで表示可能。					
ピーク表示		外部信号入力用オプションDOP-RMT装着時、外部からの信号入力により、平均表示とピーク、またはボトムホールド表示の選択が可能。 ピーク/ボトムの選択はパラメータで設定する。					
オートゼロ		表示値がパラメータの設定値以下になると表示をゼロにする。					
ゼロセット		入力のドリフトなどをキャンセルする。SETキーを押すと、ゼロセットを行なう。前面パネルにより、有効/無効を設定可能(ファンクション7で選択)					
表示最小桁ゼロ固定		表示の最小桁、または最小2桁を0に固定可能。					
入力サンプリング周期		100ms					
絶縁抵抗		10MΩ以上(DC500Vメガにて)					
耐電圧		AC1500V以上 1min					
耐ノイズ		電源端子ノーマル/コモンモード ±1500V					
耐振動		JIS C-0911に準拠 振動周波数10~55Hz、片振幅0.5mm、XYZ方向各10分間					
使用周囲温度		0℃~45℃(ただし結露のないこと)					
使用周囲湿度		35~85%RH(ただし結露のないこと)					
使用周囲雰囲気		腐食性ガスのないこと					
保護機能		前面パネルIP66(相当)、後部端子台IP20					
ケース材質		ABS樹脂					
外形寸法		W96×H48×D134mm(DIN)					
質量		300g(出力付 350g)					

※上記仕様以外に入力仕様があります。詳しくはP23をご参照ください。



# 回転速度計・速度計・通過時間計・時間幅・流量計

低価格  
タイプ

基本入力シリーズ

差動入力シリーズ

**DT-5TS/DT-5TL**

高機能  
タイプ

基本入力シリーズ

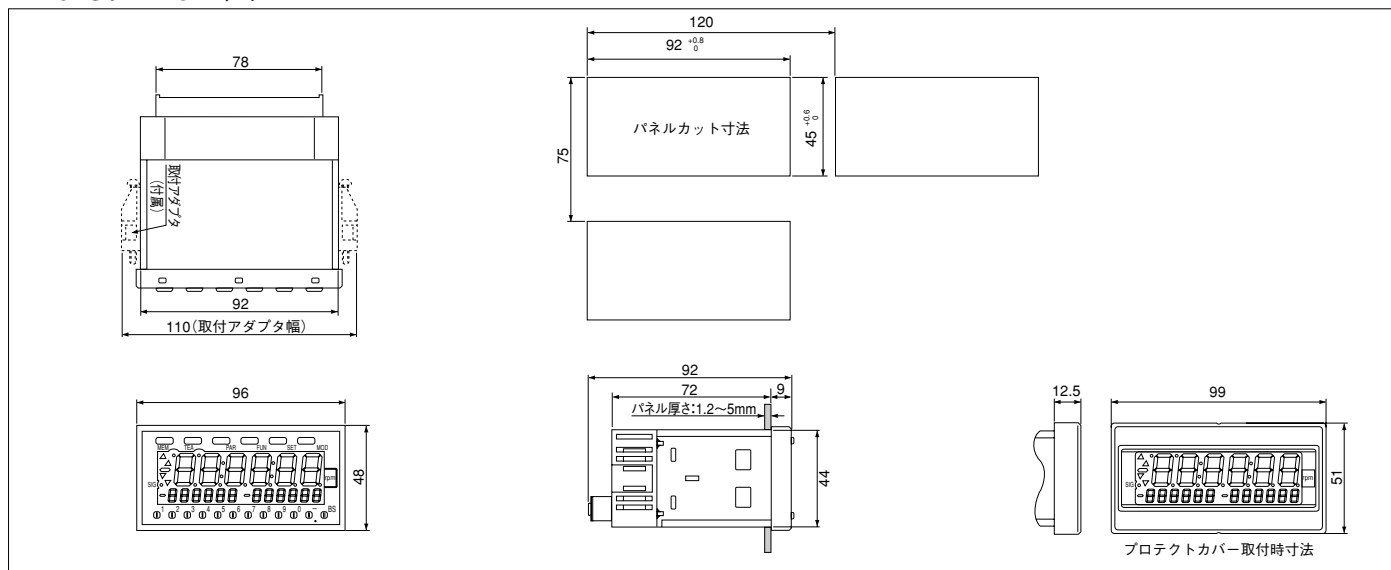
差動入力シリーズ

電圧入力シリーズ

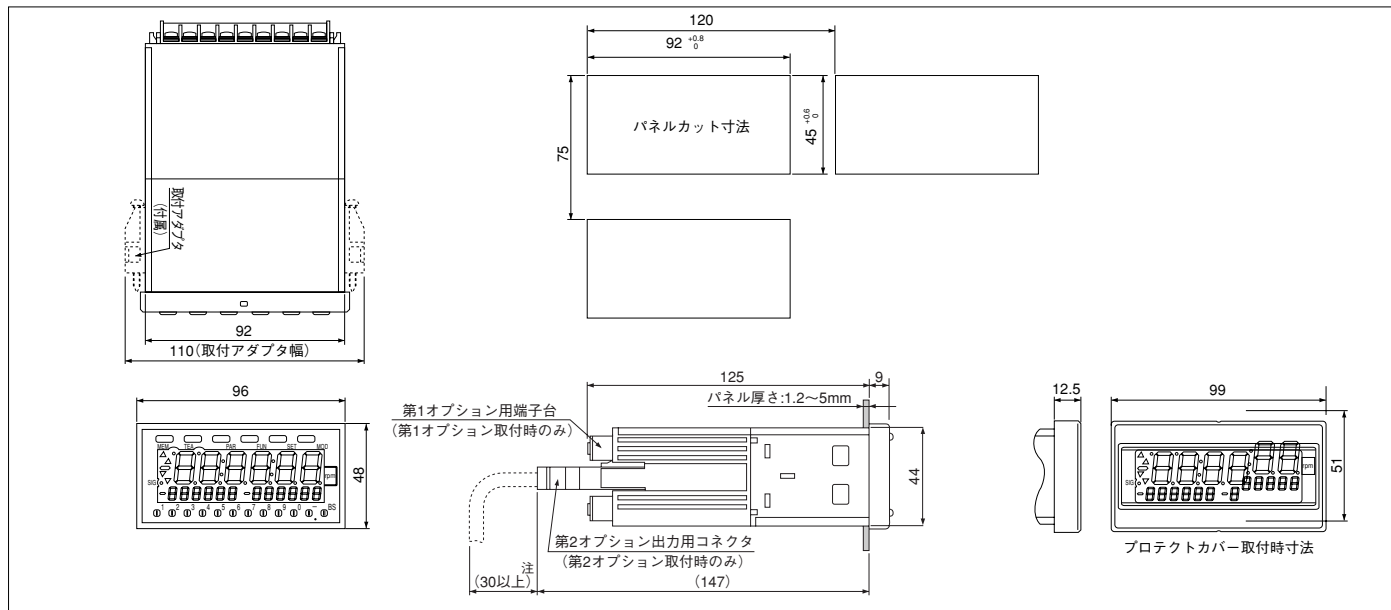
**DT-5TX/DT-5TF/DT-5TV**

## ■外形寸法

### DT-5TS / DT-5TLシリーズ



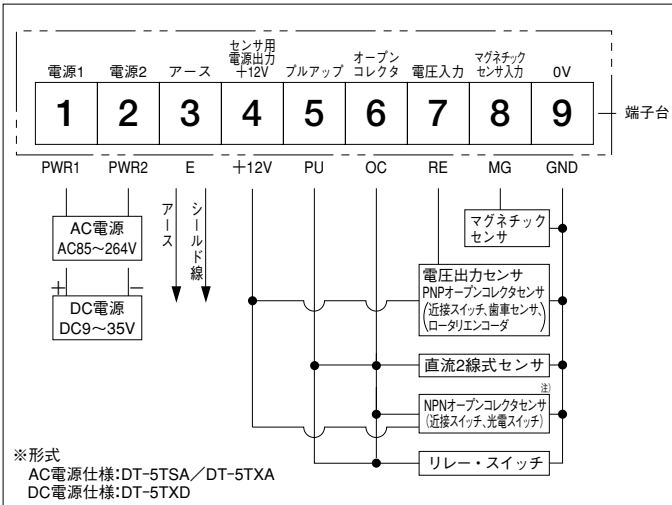
### DT-5TX / DT-5TF / DT-5TVシリーズ



## ■接続

DT-5TS / DT-5TX の場合

### ●端子台の接続図



※形式  
AC電源仕様:DT-5TSA/DT-5TXA  
DC電源仕様:DT-5TXD

注) NPNオープンコレクタの場合、⑤-⑥間はショートしません。  
注) 接続図に記載されているセンサの実際の接続は1台です。

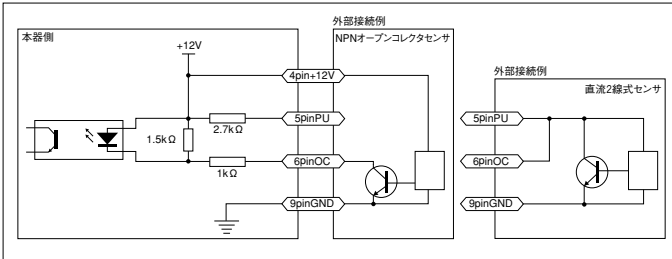
### ●入力仕様

項目	内容	
電源	交流(5TSA/5TXA) AC85~264V (50/60Hz) 直流(5TXD) DC9~35V 起動電流2A以下	
消費電力	12W	
センサ用電源出力	DC+12V 最大150mA (比率入力用オプションRMT装備時は合計して150mAまで)*	
オープンコレクタ入力	オープンコレクタ(NPN)用入力	
	LO入力	負荷容量10mA以上 0~3V
	HI入力	漏れ電流0.5mA以下
接点入力 (プルアップ+ オープンコレクタ入力)	無電圧接点用。⑤と⑥をショートして用いる。	
	接点容量	電圧12V 電流15mA以上
	最高周波数	20Hz
電圧入力	LO入力	0~1.5V
	HI入力	4.0~30V
	入力抵抗	10kΩ
マグネチックセンサ入力 <sup>2)</sup>	最高周波数	30kHz
	入力抵抗	10kΩ
	入力電圧	100Hzまで 0.3Vp-p以上 1kHzまで 1.5Vp-p以上 10kHzまで 6~30Vp-p
	最高周波数	10kHz

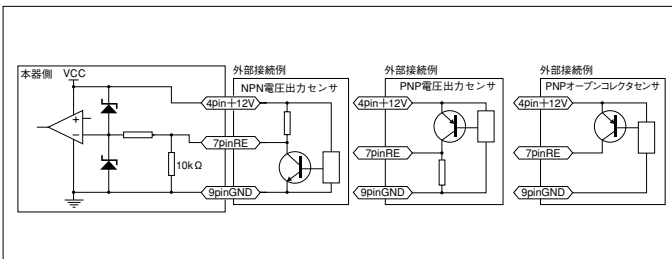
\* DT-5TXの場合のみ。(DT-5TSにはオプションの装着はありません。)  
注) マグネチックセンサは、時間幅モード(モード3)では使用できません。  
モード3については、P24をご参照ください。

### ●入力回路

#### オープンコレクタセンサ



#### 電圧出力センサ



### ●適用検出器接続端子一覧

下表は入力信号タイプ別に適用する検出器、接続端子No.を表しています。  
左記接続図と照らし合わせ、確認してください。

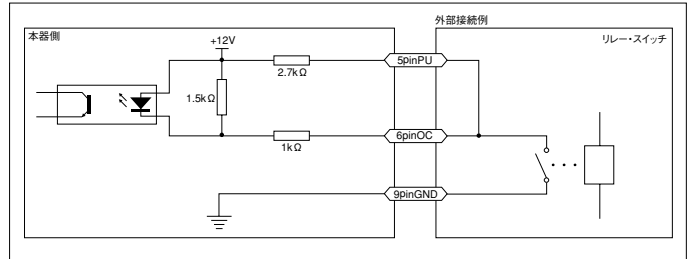
入力信号のタイプ	検出器	当社製品形式	接続端子
接点信号	リレー・スイッチ	—	5-6-9
	光電スイッチ	SE-R2	4-6-9
	近接スイッチ	SE-P12-1	
矩形波	近接スイッチ	SE-P12	4-7-9
	ロータリエンコーダ	RE-1-□C	
	歯車センサ	SE-G	
正弦波	マグネチックセンサ	SE-M	8-9

注1) 当社のオートレータ「LA(U-□A)」からのパルス出力は、接続端子7-9に接続してください。  
注2) 検出器の配線は、定められた端子に接続し、他の端子は必ず空き端子にしておいてください。  
複数の検出器の同時接続はできません。  
注3) センサ1台で2台以上の回転速度計を接続される場合、センサの電源はどれか1台からとってください。

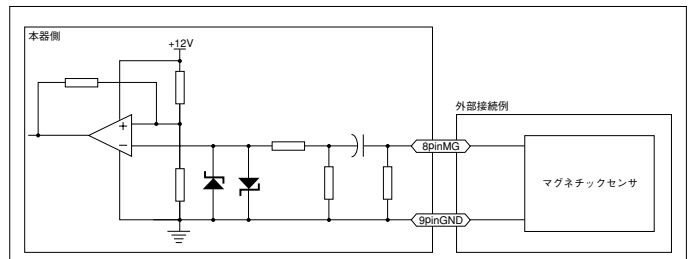
### ●マグネチックセンサ出力電圧

周波数	出力電圧
10Hz	0.3Vp-p以上必要
100Hz	0.3Vp-p以上必要
1kHz	1.5Vp-p以上必要
10kHz	6.0Vp-p以上必要

### リレー・スイッチ



### マグネチックセンサ



パネルタイプ  
回転速度計  
DT-5TS  
DT-5TL  
DT-5TX  
DT-5TX  
DT-5TF  
DT-5TF  
DT-5TG  
DT-5TP  
DT-451A  
比率

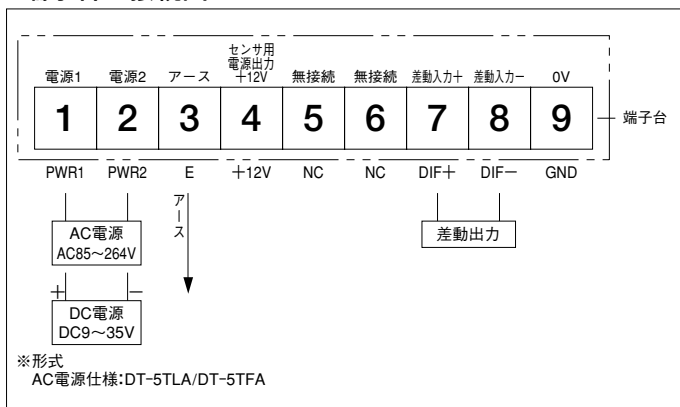
# 回転速度計・速度計・通過時間計・時間幅・流量計

低価格タイプ 基本入力シリーズ 差動入力シリーズ  
**DT-5TS/DT-5TL**

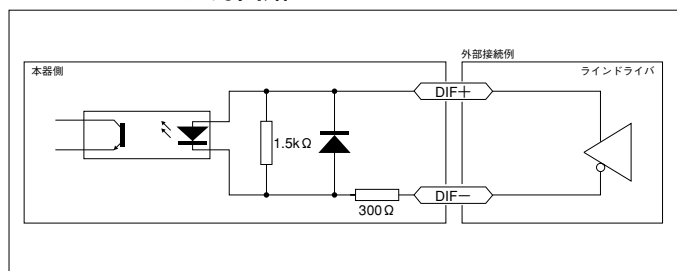
高機能タイプ 基本入力シリーズ 差動入力シリーズ 電圧入力シリーズ  
**DT-5TX/DT-5TF/DT-5TV**

## DT-5TL / DT-5TF の場合

### ●端子台の接続図



### ●ラインドライバ入力回路



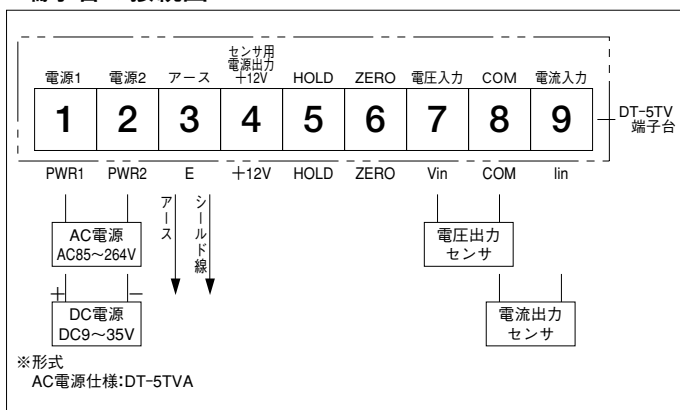
### ●入力仕様

項目	内容	
電源	交流 (5TLA/5TFA)	AC85~AC264V (50/60Hz)
消費電力	12W	
センサ用電源出力	DC+12V 最大150mA (比率入力用オプションRMT装備時は合計して150mAまで)*	
差動入力	接続対象	差動ラインドライバ AM26LS31等
	差動入力電圧	
	V <sub>DIF</sub>	最大電圧 5.5V (15mA) 最小電圧 3.0V
	最高周波数	100kHz

\*DT-5TFの場合のみ。(DT-5TLにはオプションの装着はありません。)

## DT-5TV の場合

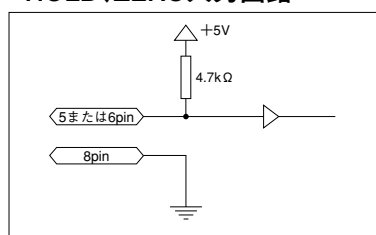
### ●端子台の接続図



### ●入力仕様

項目	内容	
電源	交流 (5TVA)	AC85~264V (50/60Hz)
センサ用電源出力	DC+12V 最大150mA	
電圧計測方式	A/D変換器使用	
入力電圧範囲	DC	±10V、±1V、1~5V、4~20mA、±100V
	AC	100V
入力インピーダンス	電圧入力:100kΩ以上、電流入力:100Ω以下	
検出器	タコジェネレータ、電圧出力機器	
HOLD、ZERO入力	NPNオープン	LO入力 負荷容量2mA以上、1V以下
	コレクタ入力	HI入力 3V以上または、漏れ電流0.2mA以下

### ●HOLD、ZERO入力回路





# 回転速度計・速度計・通過時間計・時間幅・流量計

低価格タイプ 基本入力シリーズ 差動入力シリーズ  
**DT-5TS/DT-5TL**

高機能タイプ 基本入力シリーズ 差動入力シリーズ 電圧入力シリーズ  
**DT-5TX/DT-5TF/DT-5TV**

## ●パラメータ (条件について)

### DT-5TS・DT-5TL / DT-5TX・DT-5TF の場合

DT-5TS・DT-5TL、DT-5TX・DT-5TFにはモード別に下記のパラメータがあります。(テストモードには、パラメータはありません。)

#### 【モード1:回転速度計モード】

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
P1	1回転当りのパルス数	1~9999p/r	1p/r
P2	検出部の回転速度	1~99999rpm	1000rpm
P3	表示したい値(小数点表示)	0.00001~999999	1000
P4	表示周期	0.2/0.5/1.0/2.0/5.0/10/15/30/60秒	1秒
P5	オートゼロ時間	0.1~150秒	6.0秒
P6	入力フィルタ	10/30/100/0.02kHz	10kHz

#### 【モード2:通過時間計モード】

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
P1	1回転当りのパルス数	1~9999p/r	1p/r
P2	検出部の回転速度	1~99999rpm	1000rpm
P3	表示したい値	時分秒表示 0:00:00~9:59:59 秒表示 0:00~999:99	10:00秒
P4	表示周期	0.2/0.5/1.0/2.0/5.0/10/15/30/60秒	1秒
P5	オートゼロ時間	0.1~150秒	6.0秒
P6	入力フィルタ	10/30/100/0.02kHz	10kHz

#### 【モード3:時間幅モード】

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
P1	時分秒と1/100秒の切替	0:00:00/0:00	1/100秒
P2	測定部分	0(OFF時)/1(ON時)	ON時
P3	オートゼロ時間	0.1~3600秒	3600秒
P4	入力フィルタ	10/0.02kHz	10kHz

#### 【モード4:流量計モード】

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
P1	1回転当りの羽根の数	1~99枚	1枚
P2	検出器1羽根当りの容量(cc・lなど)	0.0001~99999	1.0
P3	スケールリング	0.00000~999999	1
P4	小数点表示	0.00000~00000.0	小数点第1位までの表示
P5	表示周期	0.2/0.5/1.0/2.0/5.0/10/15/30/60秒	1秒
P6	オートゼロ時間	0.1~150秒	6.0秒
P7	入力フィルタ	10/30/100/0.02kHz	10kHz

### DT-5TV の場合

DT-5TVにはモード別に下記のパラメータがあります。(テストモードには、パラメータはありません。)

#### 【モード1:入力範囲 DC0~±10V】

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
P1	入力電圧値(P1>P4)	0.000~±10.00	10.00
P2	入力P1のときに	符号と数値 0~±99999	1000
P3	表示したい値	小数点位置 0/0.0/0.00/0.000/0.0000	0(小数点なし)
P4	入力電圧値(P4<P1)	0.000~±10.00	0.00
P5	入力P4のときに表示したい値	符号と数値 0~±99999	0
P6	表示周期	0.2/0.5/1/2/5/10	1
P7	ゼロ表示幅	0~99999	0
P8	入力フィルタ	0(OFF)/1(ON)	1(ON)
P9	ピーク表示の選択	0/1/2	0(通常表示)

#### 【モード2:入力範囲 DC0~±1V】

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
P1	入力電圧値(P1>P4)	0.000~±1.000	1.000
P2	入力P1のときに	符号と数値 0~±99999	1000
P3	表示したい値	小数点位置 0/0.0/0.00/0.000/0.0000	0(小数点なし)
P4	入力電圧値(P4<P1)	0.000~±1.000	0.000
P5	入力P4のときに表示したい値	符号と数値 0~±99999	0
P6	表示周期	0.2/0.5/1/2/5/10	1
P7	ゼロ表示幅	0~99999	0
P8	入力フィルタ	0(OFF)/1(ON)	1(ON)
P9	ピーク表示の選択	0/1/2	0(通常表示)

#### 【モード3:入力範囲 DC1~5V】

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
P1	入力電圧値(P1>P4)	1.001~5.000	5.000
P2	入力P1のときに	符号と数値 0~±99999	1000
P3	表示したい値	小数点位置 0/0.0/0.00/0.000/0.0000	0(小数点なし)
P4	入力電圧値(P4<P1)	1.000~5.000	1.000
P5	入力P4のときに表示したい値	符号と数値 0~±99999	0
P6	表示周期	0.2/0.5/1/2/5/10	1
P7	ゼロ表示幅	0~99999	0
P8	入力フィルタ	0(OFF)/1(ON)	1(ON)
P9	ピーク表示の選択	0/1/2	0(通常表示)

#### 【モード4:入力範囲 DC4~20mA】

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
P1	入力電流値(P1>P4)	4.01~20.00	20.00
P2	入力P1のときに	符号と数値 0~±99999	1000
P3	表示したい値	小数点位置 0/0.0/0.00/0.000/0.0000	0(小数点なし)
P4	入力電流値(P4<P1)	4.00~20.00	4.00
P5	入力P4のときに表示したい値	符号と数値 0~±99999	0
P6	表示周期	0.2/0.5/1/2/5/10	1
P7	ゼロ表示幅	0~99999	0
P8	入力フィルタ	0(OFF)/1(ON)	1(ON)
P9	ピーク表示の選択	0/1/2	0(通常表示)

#### 【モード5:入力範囲 DC0~±100V】

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
P1	入力電圧値(P1>P4)	0.1~±100.0	100.0
P2	入力P1のときに	符号と数値 0~±99999	1000
P3	表示したい値	小数点位置 0/0.0/0.00/0.000/0.0000	0(小数点なし)
P4	入力電圧値(P4<P1)	0.0~±100.0	0.0
P5	入力P4のときに表示したい値	符号と数値 0~±99999	0
P6	表示周期	0.2/0.5/1/2/5/10	1
P7	ゼロ表示幅	0~99999	0
P8	入力フィルタ	0(OFF)/1(ON)	1(ON)
P9	ピーク表示の選択	0/1/2	0(通常表示)

#### 【モード6:入力範囲 AC0~100V】

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
P1	入力電圧値(P1>P4)	0.0~100.0	100.0
P2	入力P1のときに	符号と数値 0~±99999	1000
P3	表示したい値	小数点位置 0/0.0/0.00/0.000/0.0000	0(小数点なし)
P4	入力電圧値(P4<P1)	0.0~100.0	0.0
P5	入力P4のときに表示したい値	符号と数値 0~±99999	0
P6	表示周期	0.2/0.5/1/2/5/10	1
P7	ゼロ表示幅	0~99999	0
P8	入力フィルタ	0(OFF)/1(ON)	1(ON)
P9	ピーク表示の選択	0/1/2	0(通常表示)

注) No.P5(入力P4のときに表示したい値)の小数点位置は、No.P3の設定値と同じ値です。

パラメータの設定方法については28ページをご参照ください。

●ファンクション（動作形態）について

DT-5TS・DT-5TL / DT-5TX・DT-5TF の場合

DT-5TS・DT-5TL、DT-5TX・DT-5TFにはモード別に下記のファンクションがあります。（テストモードには、ファンクションはありません。）

【モード1:回転速度計モード】

DT-5TS、DT-5TLにはF10以降のファンクションはありません。

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
F1	上下限値、下限値 <sup>注1)</sup>	000000~999999	0
F2	上下限値のヒステリシス	0~99	0
F3	上下限値の設定禁止	0(許可)/1(禁止)	許可
F4	起動時の判定出力タイマ	0~99秒	0秒
F5	サブ表示器の表示選択	0(上下限値)/1(なし)/2(回転速度)	上下限値
F6	最小回転速度	000000~999999	0
F7	移動平均回数	0(なし)/1(3回)/2(10回)	なし
F8	予測演算機能	0(なし)/1(あり)	なし
F10	BCD出力の論理 <sup>注2)</sup>	0(負論理)/1(正論理)	負論理
F11	最大アナログ信号出力表示値 <sup>注3)</sup>	0~999999	1000
F12	最小アナログ信号出力表示値 <sup>注3)</sup>	0~999999	10
F13	アナログ信号出力周期 <sup>注3)</sup>	0(最速) <sup>注4)</sup> /1(表示周期と同期)	最速(約10msec)
F14	アナログ信号出力オフセット <sup>注3)</sup>	-100.0~0~100.0%	0%

【モード2:通過時間計モード】

DT-5TS、DT-5TLにはF10以降のファンクションはありません。

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
F1	上下限値、下限値 <sup>注1)</sup>	時分秒表示 秒表示 0:00:00~9:59:59 0:00~999:99	秒表示 0
F2	上下限値のヒステリシス	0~99	0
F3	上下限値の設定禁止	0(許可)/1(禁止)	許可
F4	起動時の判定出力タイマ	0~99秒	0秒
F5	サブ表示器の表示選択	0(上下限値)/1(なし)/2(回転速度)	上下限値
F6	最小回転速度	000000~999999	0
F7	移動平均回数	0(なし)/1(3回)/2(10回)	なし
F8	予測演算機能	0(なし)/1(あり)	なし
F10	BCD出力の論理 <sup>注2)</sup>	0(負論理)/1(正論理)	負論理
F11	最大アナログ信号出力表示値 <sup>注3)</sup>	時分秒表示 秒表示 0:00:00~9:59:59 0:00~999:99	10:00
F12	最小アナログ信号出力表示値 <sup>注3)</sup>	時分秒表示 秒表示 0:00:00~9:59:59 0:00~999:99	00:10
F13	アナログ信号出力周期 <sup>注3)</sup>	0(最速) <sup>注4)</sup> /1(表示周期と同期)	最速(約10msec)
F14	アナログ信号出力オフセット <sup>注3)</sup>	-100.0~0~100.0%	0%

【モード3:時間幅モード】

DT-5TS、DT-5TLにはF10以降のファンクションはありません。

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
F1	上下限値、下限値 <sup>注1)</sup>	時分秒表示 秒表示 0:00:00~9:59:59 0:00~999:99	秒表示 0秒
F2	上下限値のヒステリシス	0~99	0
F3	上下限値の設定禁止	0(許可)/1(禁止)	許可
F4	起動時の判定出力タイマ	0~99秒	0秒
F5	サブ表示器の表示選択	0(上下限値)/1(なし)/2(回転速度)	上下限値
F10	BCD出力の論理 <sup>注2)</sup>	0(負論理)/1(正論理)	負論理
F11	最大アナログ信号出力表示値 <sup>注3)</sup>	時分秒表示 秒表示 0:00:00~9:59:59 0:00~999:99	10秒
F12	最小アナログ信号出力表示値 <sup>注3)</sup>	時分秒表示 秒表示 0:00:00~9:59:59 0:00~999:99	0.1秒
F13	アナログ信号出力周期 <sup>注3)</sup>	0(最速) <sup>注4)</sup> /1(表示周期と同期)	最速(約10msec)
F14	アナログ信号出力オフセット <sup>注3)</sup>	-100.0~0~100.0%	0%

注1) 上下限値はサブA表示部、下限値はサブB表示部で表示を行いません。  
 注2) F10は、オプションDOP-BCD装着時に設定できます。(DT-5TX、DT-5TFのみ)  
 また、F10はBCD出力、小数点出力の正負論理のみ設定できます。  
 注3) F11~F14は、オプションDOP-FVT、またはDOP-FVC装着時に設定できます。(DT-5TX、DT-5TFのみ)  
 注4) 最速:出力周期10msec  
 ただし、入力周波数が200Hz以上のとき。

【モード4:流量計モード】

DT-5TS、DT-5TLにはF10以降のファンクションはありません。

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
F1	上下限値、下限値 <sup>注1)</sup>	000000~999999	0
F2	上下限値のヒステリシス	0~99	0
F3	上下限値の設定禁止	0(許可)/1(禁止)	許可
F4	起動時の判定出力タイマ	0~99秒	0秒
F5	サブ表示器の表示選択	0(上下限値)/1(なし)/2(回転速度)	上下限値
F6	最小流量(表示値)	0.0~999999	0
F7	移動平均回数	0(なし)/1(3回)/2(10回)	なし
F8	予測演算機能	0(なし)/1(あり)	なし
F10	BCD出力の論理 <sup>注2)</sup>	0(負論理)/1(正論理)	負論理
F11	最大アナログ信号出力表示値 <sup>注3)</sup>	0.0~999999	100.0
F12	最小アナログ信号出力表示値 <sup>注3)</sup>	0.0~999999	1.0
F13	アナログ信号出力周期 <sup>注3)</sup>	0(最速) <sup>注4)</sup> /1(表示周期と同期)	最速(約10msec)
F14	アナログ信号出力オフセット <sup>注3)</sup>	-100.0~0~100.0%	0%

DT-5TV の場合

DT-5TVには下記のファンクション（各モード共通）があります。（テストモードには、ファンクションはありません。）

No.	設定項目	設定範囲	初期設定値
F1	上下限値、下限値 <sup>注1)</sup>	00000~±99999	0
F2	上下限値のヒステリシス	0~99	0
F3	上下限値の設定禁止	0(許可)/1(禁止)	0(許可)
F4	起動時の判定出力タイマ	0~99秒	0秒
F5	上限、上限、下限、下限出力の有効/無効	00(出力禁止)/01(上下限出力有効)/10(上下限・下限出力有効)/11(上下限・上限・下限出力有効)	11(上下限・上限・下限出力有効)
F6	サブ表示器の表示選択	0(上下限値)/1(なし)	0(上下限値)
F7	ゼロセット	0(無効)/1(有効)	1(有効)
F8	表示最小桁ゼロ固定	0(ゼロ固定なし)/1(1桁固定)/2(2桁固定)	0(ゼロ固定なし)
F9	移動平均回数	0(なし)/1(3回)/2(10回)	0(なし)
F10	BCD出力の論理 <sup>注2)</sup>	0(負論理)/1(正論理)	0(負論理)
F11	最大アナログ信号出力表示値 <sup>注3)</sup>	0~±99999	1000
F12	最小アナログ信号出力表示値 <sup>注3)</sup>	0~±99999	0
F13	最小アナログ信号出力表示幅 <sup>注3)</sup>	0~99999	0
F14	アナログ信号出力周期 <sup>注3)</sup>	0(最速) <sup>注4)</sup> /1(表示周期と同期)	1(表示周期と同期)
F15	アナログ信号出力オフセット <sup>注3)</sup>	-100.0~0~100.0%	0%

注1) 上下限値はサブA表示部、下限値はサブB表示部で表示を行いません。  
 注2) F10は、オプションDOP-BCD装着時に設定できます。  
 また、F10はBCD出力、小数点出力の正負論理のみ設定できます。  
 注3) F11~F14は、オプションDOP-FVT、またはDOP-FVC装着時に設定できます。  
 注4) 最速:出力周期10msec  
 ただし、入力周波数が200Hz以上のとき。

ファンクションの設定方法については記載していませんので、28ページ「パラメータの設定方法」をご参照ください。

パネルタイプ  
回転速度計  
DT-5TS  
DT-5TL  
DT-5TX  
DT-5TF  
DT-5TV  
DT-5TG  
DT-5TP  
DT-451A

# 回転速度計・速度計・流量計・通過時間計

低価格  
タイプ

基本入力シリーズ 差動入力シリーズ  
**DT-5TS/DT-5TL**

高機能  
タイプ

基本入力シリーズ 差動入力シリーズ 電圧入力シリーズ  
**DT-5TX/DT-5TF/DT-5TV**

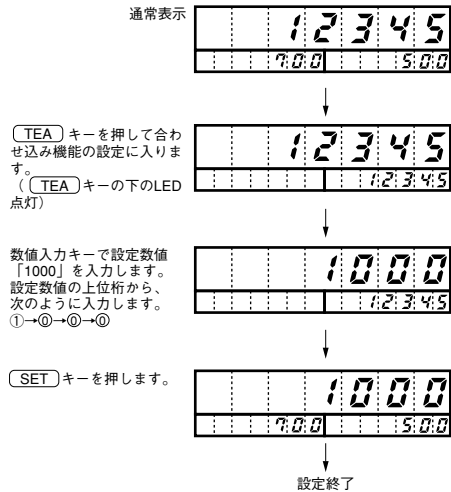
## ●合わせ込み機能

実際の回転速度を確認(測定)できる場合は下記のような簡単な方法(合わせ込み機能)で設定できます。

面倒な計算をしないで、表示値の任意変更や誤差修正をフロントパネルのキー操作だけでできる機能です。

※通過時間計モード、時間幅モードでは、合わせ込み機能の設定はできません。

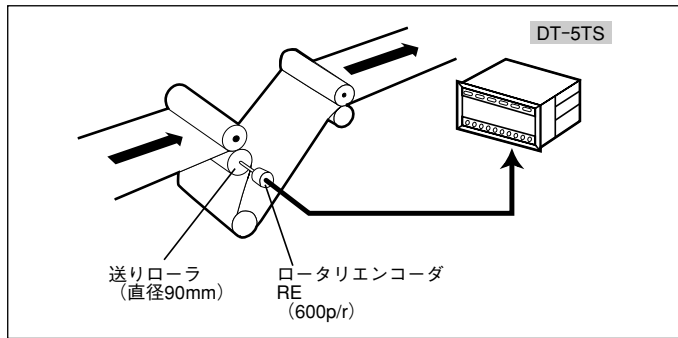
例: 12345rpmを表示したとき、検出器のパルス数、減速比などが不明。この場合、ハンドヘルド形回転速度計で実測し、例えば実測値が1000rpmとしたら、その数値を設定回転速度としてインプットするだけでパラメータ設定なしで表示することができます。



## ●設定方法

下記の設定例を参考に設定を行なってください。

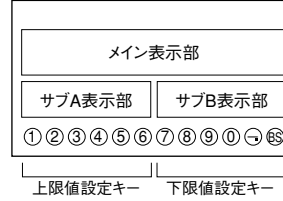
### 【設定例：ローラの周速測定】



## ●上下限値の設定

- 通常表示時に数値入力キーのいずれかを押しと、上下限値の設定に入ります。
- 上下限値の各桁に対応する数値入力キーを押して数値の設定、変更を行ないます。
- 上下限値設定後、約10秒間数値入力キーを押さなければ、各設定は終了です。サブ表示部は通常表示に戻ります。

### ・パネル前面部



### 〔上限値設定キー対応表〕

DT-5TS・5TL	サブA表示部	6	5	4	3	2	1
DT-5TX・5TF	桁数						
DT-5TV	桁数	—	5	4	3	2	1
数値入力キー		①	②	③	④	⑤	⑥

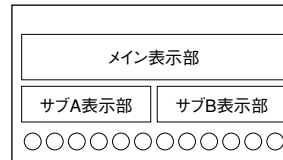
### 〔下限値設定キー対応表〕

DT-5TS・5TL	サブB表示部	6	5	4	3	2	1
DT-5TX・5TF	桁数						
DT-5TV	桁数	—	5	4	3	2	1
数値入力キー		⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫

## ●メモリ機能の設定(最大・最小値の表示)

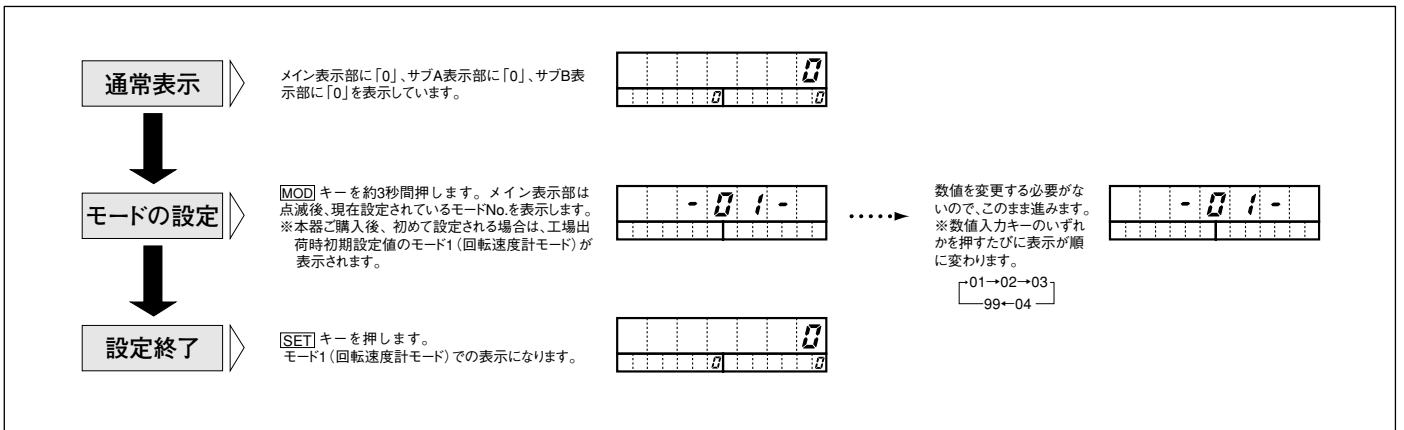
- 通常表示時に、〔MEM〕キーを押すと、最大・最小値の表示を開始します。(メモリモードランプが点滅)
- 再度、〔MEM〕キーを押すまでの間、サブA表示部に最大値、サブB表示部に最小値を表示します。

### ・パネル前面部



- ・サブA表示部:最大値を表示
- ・サブB表示部:最小値を表示

## モード(回転速度計モード)を上記例で設定します



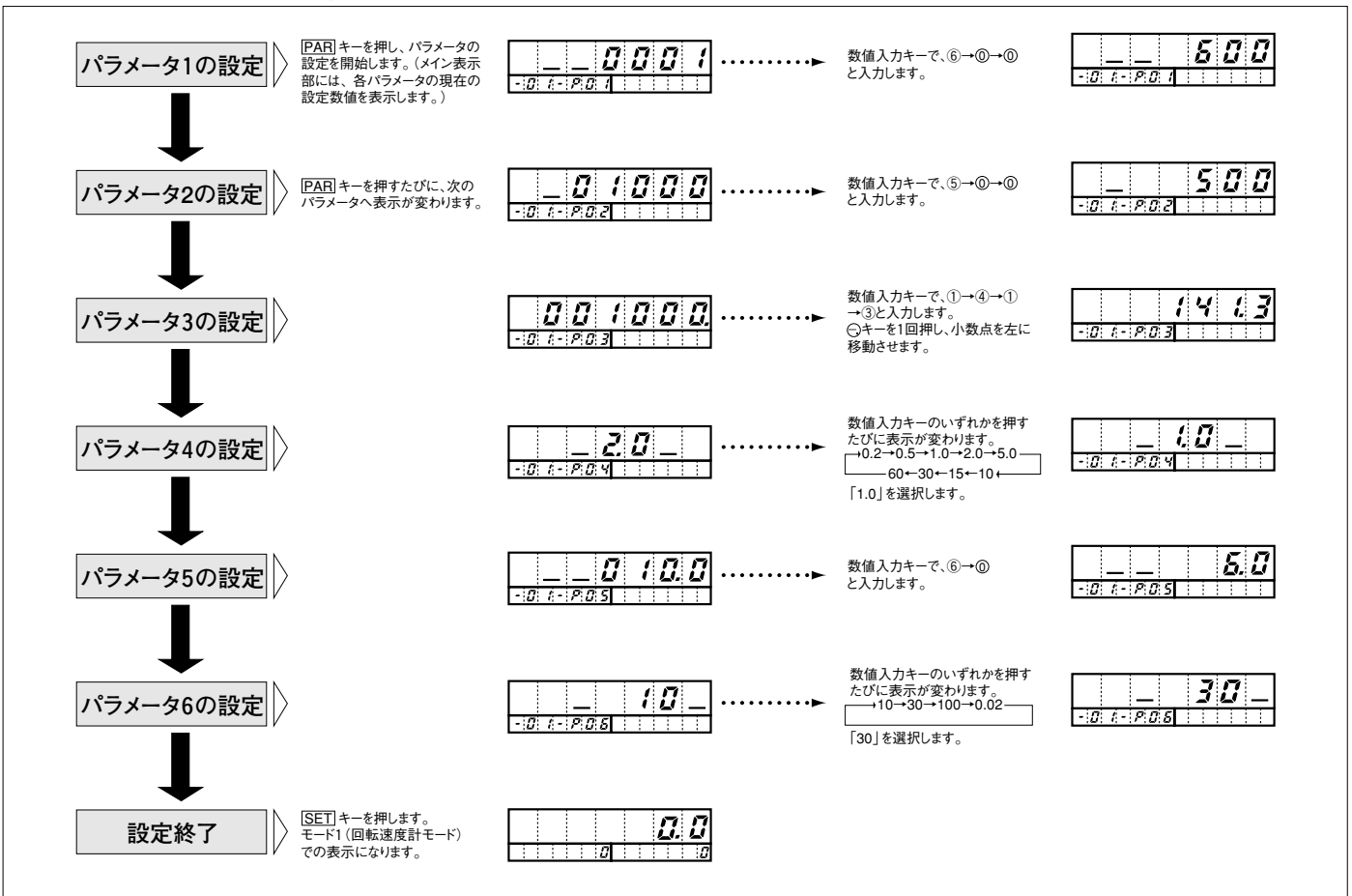
左記のように、紙の製造工程で送りローラにロータリエンコーダがカップリングで接続。次の条件で、送りローラの周速(m/min)をDT-5TSに表示させたい。

### 〔条件〕

- ・ロータリエンコーダ:600p/r
- ・送りローラの直径:90mm
- ・ローラ径90mmの周速: $\frac{(0.09m \times 3.14)}{\text{ローラ円周}} \times 500\text{rpm} = 141.3\text{m/min}$

※回転速度が指示されていないので、仮に検出部の回転速度を500rpmとします。

パラメータを前ページ例で設定します。



ファンクションは、上記パラメータ同様に設定を行います。  
(本カタログでは、ファンクションの設定方法については記載していません。)

パネルタイプ  
回転速度計  
DT-5TS 流量・速度・通過時間幅・流量  
DT-5TL 流量・速度・通過時間幅・流量  
DT-5TX 流量・速度・通過時間幅・流量  
DT-5TF 流量・速度・通過時間幅・流量  
DT-5TV 流量・速度・通過時間幅・流量  
DT-5TX 流量・速度・通過時間幅・流量  
DT-5TF 流量・速度・通過時間幅・流量  
DT-5TG 流量・速度・通過時間幅・流量  
DT-5TP 流量・速度・通過時間幅・流量  
DT-451A 流量・速度・通過時間幅・流量

**オプション部**

※基本部の仕様はP19、オプションの取付方法はP20、接続はP22～23をご参照ください。

アナログ信号 (電圧・電流) 出力 **DOP-FVT** 端子台出力 表示値に対応するアナログ信号 (電圧・電流) を出力。  
 (電圧・電流) 出力 **DOP-FVC** コネクタ出力

●仕様 (DOP-FVT/DOP-FVC共通)

形式	DOP-FVT、DOP-FVC	
出力	電流出力	4～20mA
	電圧出力	0～10V DT-5TVと比率計で⊖を表示する場合は±10V
精度	電圧出力	1～5V
	電圧出力	0～1V DT-5TVと比率計で⊖を表示する場合は±1V
負荷	電流出力	500Ω以下
	電圧出力	1kΩ以上
使用コネクタ※ (DOP-FVC)	本体側:PCS-E36LMD 付属差込側:プラグ PCS-E36FS、カバー PCS-E36LA (共に本多通信製)	

※ケーブルの接続はお客さまにてお願いします。(DOP-FVCのみ)

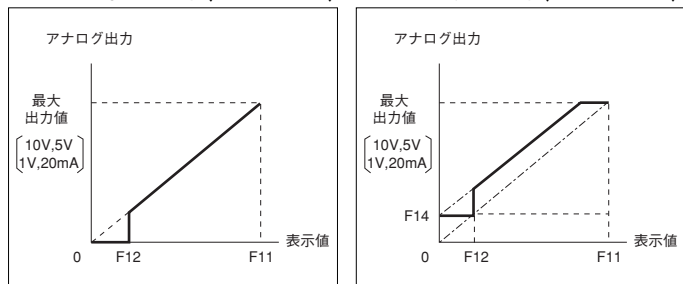
●設定 (DOP-FVT/DOP-FVC共通)

P26「ファンクションについて」(比率計の場合はP39「ファンクションについて」)と併せて、ご確認ください。  
 DOP-FVT、またはDOP-FVCを本体に取付けると、ファンクションの設定で次の機能が可能になります。

ファンクションNo.	設定項目	機能説明
F11	最大アナログ信号出力表示値	各出力の最大値 (10V、5V、1V、20mA) に相当する表示値を設定します。
F12	最小アナログ信号出力表示値	この表示値以下のとき、各出力は強制的に最小値 (0V、1V、4mA) になります。通常はゼロに設定します。
F13	アナログ信号出力周期	0のときは最速 (約10msec) 注)、1のときは表示周期で出力が更新されます。
F14	アナログ信号出力オフセット	最大出力 (10V、1V) を100%として、%で設定した値を上乗せして出力します。4～20mA、1～5V出力は各々16mA、4Vを100%とします。上乗せした値は最大出力 (10V、5V、1V、20mA) 以上にはなりません。通常はゼロに設定します。

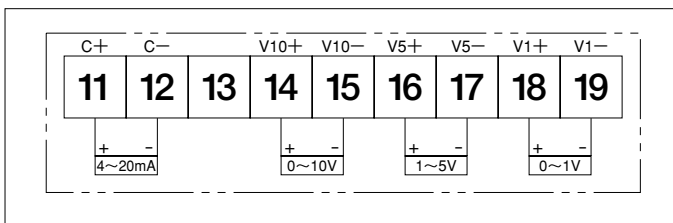
注) 入力周波数が200Hz以上のとき。

オフセットなしのとき (F14=0.0%)      オフセットありのとき (F14=20.0%)



●接続

DOP-FVT (端子台の接続)



※このうち1つの出力を使用してください。

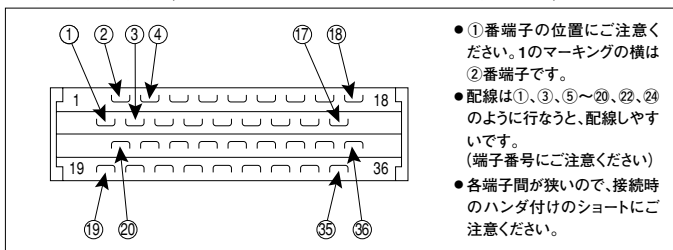
DOP-FVC (コネクタの接続)

記号	ピン番号		記号
4～20mA	出力+	1	19
	出力-	2	20
無接続		3	21
		4	22
無接続		5	23
		6	24
無接続		7	25
		8	26
10V	出力+	9	27
	出力-	10	28
無接続		11	29
		12	30
1～5V	出力+	13	31
	出力-	14	32
無接続		15	33
		16	34
1V	出力+	17	35
	出力-	18	36

※このうち1つの出力を使用してください。

●1と2は内部で接続されています。その他の9-10、17-18、19-20、27-28、31-32、35-36も同じです。出力-とは0V側です。

コネクタ番号図 (差込プラグの電線取付側から見た図)



- ①端子の位置にご確認ください。1のマーキングの横は②端子です。
- 配線は①、③、⑤～②①、②②、②④のように行なうと、配線しやすいです。(端子番号にご確認ください)
- 各端子間が狭いので、接続時のハンダ付けのショートにご注意ください。

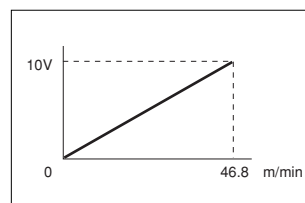
【設定例1】

1回転1パルスの入力で、1200rpmのときの表示値が46.8m/min。このとき10Vを出力する場合、最小出力は0V、出力周期は表示周期と同じとします。

パラメータ		
P1	P2	P3
1	1200	46.8

ファンクション			
F11	F12	F13	F14
46.8	0.0	1	0.0

※その他のパラメータ、ファンクションは初期値とします。



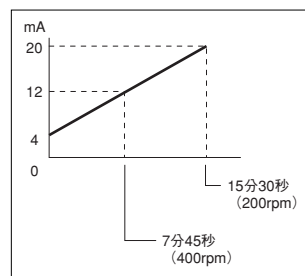
【設定例3】

1回転100パルスの入力で、200rpmのときの通過時間 (表示値) が15分30秒のとき20mAを出力する場合、出力周期は表示周期とします。

パラメータ		
P1	P2	P3
100	200	0:15:30

ファンクション			
F11	F12	F13	F14
0:15:30	0	1	0.0

※その他のパラメータ、ファンクションは初期値とします。



【設定例2】

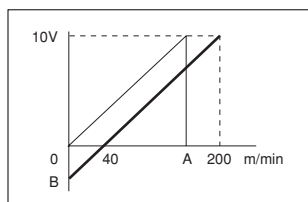
1回転60パルスの入力で、1000rpmのときの表示値が200m/min。このとき10V、40m/minで0Vを出力する場合、出力周期は最速 (約10msec) とします。

- ステップ1:40m/min・0Vと200m/min・10Vを結ぶ線を引きます。
- ステップ2:0Vを通る平行線を引き、10Vに相当する速度A (F11) を求めます。  
→A=200-40=160m/min
- ステップ3:0m/minのときのオフセット電圧Bを求めます。  
→B=-40÷160×10=-2.5V
- ステップ4:Bを、10Vが100.0%とした値C (F14) に換算します。(下1桁)  
→C=-2.5÷10×100=-25.0%

パラメータ		
P1	P2	P3
60	1000	200

ファンクション			
F11	F12	F13	F14
160	0	0	-25.0

※その他のパラメータ、ファンクションは初期値とします。  
 ※40m/min以下のときはマイナス出力になります。



※基本部の仕様はP19、オプションの取付方法はP20、接続はP22～23をご参照ください。

トランジスタ出力 **DOP-TRT** 端子台出力

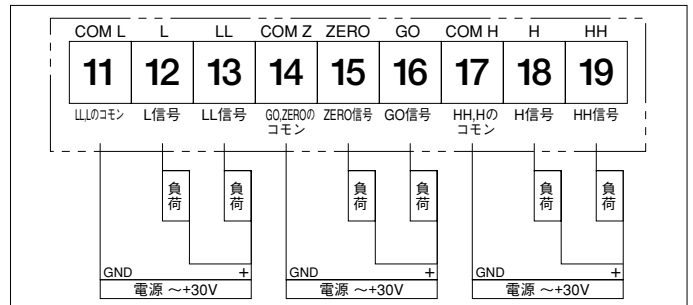
オープンコレクタ出力。  
HH、H、LL、L、GOおよびZEROを出力。

●仕様 (DOP-TRT)

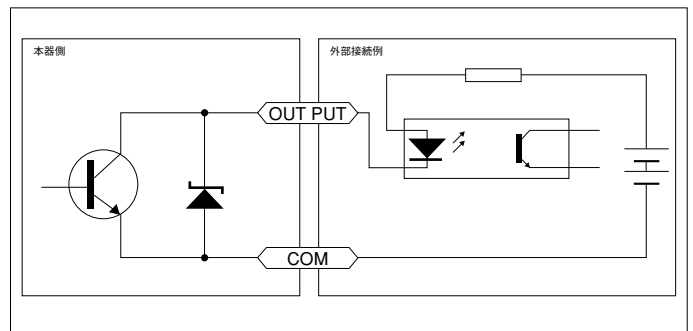
形式	DOP-TRT	
出力容量	DC30V 20mA オープンコレクタ	
残留電圧	VOL=1.5V以下	
出力信号	計測値<LL設定値	LL信号がON
	計測値<L設定値	L信号がON
	L設定値≦計測値≦H設定値	GO信号がON
	H設定値<計測値	H信号がON
	HH設定値<計測値	HH信号がON
計測値=0	ZERO信号がON	
出力は内部回路と絶縁されています。		
出力時トランジスタがON		

●接続

DOP-TRT (端子台の接続)



出力回路 (DOP-TRT)



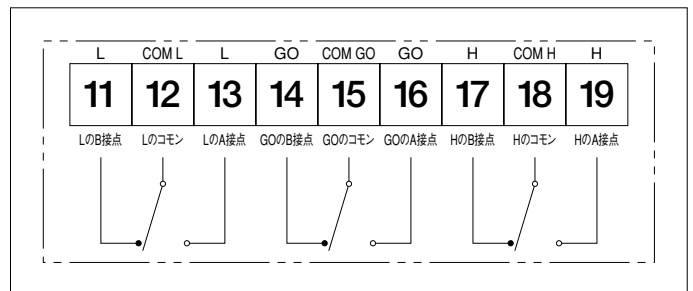
リレー出力 **DOP-CPT** 端子台出力

リレーのC接点出力。  
設定値に対して、HI、LO出力ならびにGOを出力。

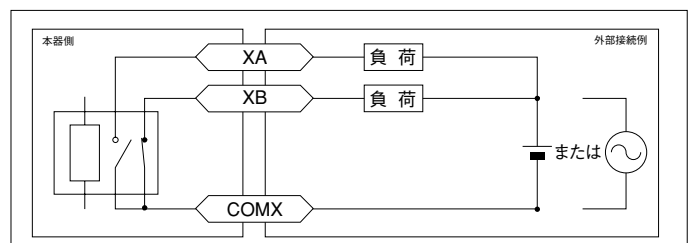
●仕様

形式	DOP-CPT	
出力接点	1C	
定格負荷	抵抗負荷	AC250V 5A 10万回
	誘導負荷	DC30V 5A 10万回
誘導負荷	誘導負荷	AC250V 2.5A 10万回
	cosφ=0.4	DC30V 2.5A 10万回
出力信号	計測値<L設定値	L信号がON
	L設定値≦計測値≦H設定値	GO信号がON
	H設定値<計測値	H信号がON

●接続 (端子台の接続)



出力回路



パネルタイプ  
回線接続端子

DT-5TS  
DT-5TL  
DT-5TX  
DT-5TF  
DT-5TV  
回転速度・通電・環境・湿度・時間・時間・時間・流・流・流  
比率

DT-5TX  
DT-5TF  
DT-5TV  
DT-5TP  
DT-5TA

**オプション部**

※基本部の仕様はP19、オプションの取付方法はP20、接続はP22～23をご参照ください。

**BCD出力 DOP-BCD コネクタ出力**

オープンコレクタ、BCD出力。  
 プログラマブルコントローラとのインターフェースが簡単に可能。

●仕様

形式	DOP-BCD	
NPNオープンコレクタ出力	出力容量	DC30V 20mA
オープンコレクタ入力	オープンコレクタ (NPN) 用入力	
	LO入力	負荷容量5mA以上 0～1.5V
	HI入力	漏れ電流0.1mA以下
データ出力	6桁BCDコード (DT-5TVでは5桁)	
小数点出力	DP1～4 (10 <sup>-1</sup> ～10 <sup>-4</sup> 桁)	
制御出力	PLUS	データ出力が正の場合、この信号がLOになる
	DT_OUT	この信号がHIのとき、出力信号が確定している
	OVR	表示値がオーバーフローすると、この信号がLOになる
制御入力	HOLD	この信号がLOの期間、データを更新しない
	ENABLE	この信号がLOの期間、出力が全てハイインピーダンスになる
使用コネクタ※	本体側:PCS-E36LMD 付属差込側:プラグ PCS-E36FS、カバー PCS-E36LA (共に本多通信製)	

BCD出力、小数点出力は正負論理設定可 (ファンクション10で選択)

※ケーブルの接続はお客さまにてお願いします。

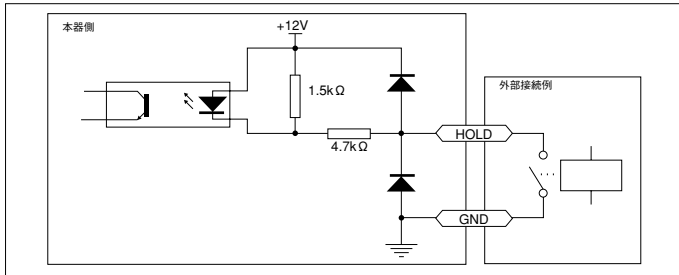
●接続 (コネクタ接続)

入出力	記号	ピン番号			記号	入出力
		1	2	3		
出力	×10 <sup>0</sup>	1	1	19	1	×10 <sup>3</sup>
		2	2	20	2	
		4	3	21	4	
		8	4	22	8	
	×10 <sup>1</sup>	1	5	23	1	×10 <sup>4</sup>
		2	6	24	2	
		4	7	25	4	
		8	8	26	8	
	×10 <sup>2</sup>	1	9	27	1	×10 <sup>5</sup> (注)
		2	10	28	2	
		4	11	29	4	
		8	12	30	8	
入力	PLUS	13	31	DP1		
	DT_OUT	14	32	DP2		
	OVR	15	33	DP3		
	HOLD	16	34	DP4		
ENABLE	17	35	GND			
GND	18	36	GND			

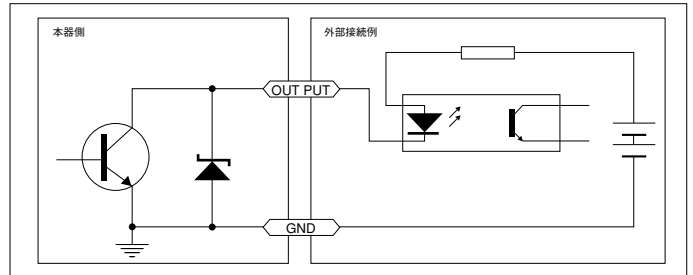
注) DT-5TVでは、X10<sup>5</sup>桁は"0"を出力します。

●コネクタの接続については、前ページ「コネクタ番号図」をご参照ください。

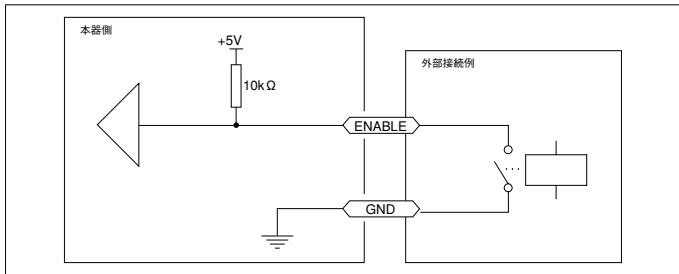
HOLD入力回路



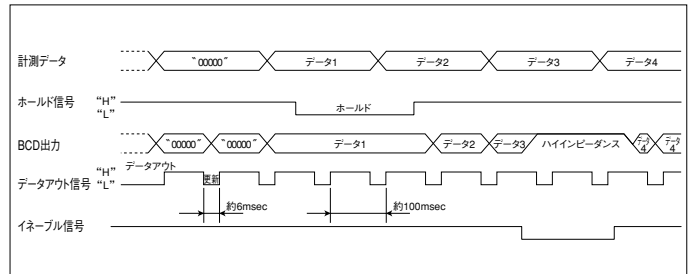
出力回路



ENABLE入力回路



●タイミングチャート



DT-5TVと組み合わせる場合

**外部信号入力 DOP-RMT 端子台入力**

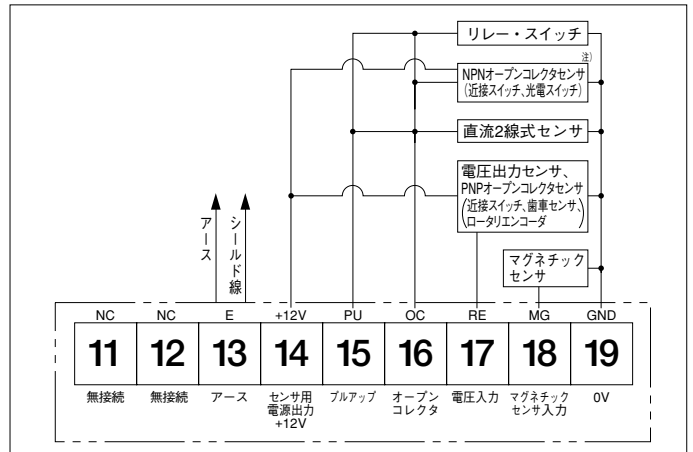
ピーク、ボトム的外部入力に使用。  
 注) DOP-RMTは比率入力用オプションですが、DT-5TVと組み合わせる場合は外部信号入力用オプションとして機能します。

●仕様

形式	DOP-RMT	
センサ用電源出力	DC+12V	基本部の+12V出力と合計して150mAまで
オープンコレクタ入力	オープンコレクタ (NPN) 用入力	
	LO入力	負荷容量10mA以上 0～3V
	HI入力	漏れ電流0.5mA以下 応答時間 30msec
接点入力 (プルアップ入力+オープンコレクタ入力)	無電圧接点用。⑮と⑯をショートして用いる。	
	接点容量	電圧12V 電流15mA以上
電圧入力	接点容量	電圧12V 電流15mA以上
	LO入力	0～1.5V
	HI入力	4.0～30V
マグネチックセンサ入力	入力抵抗	10kΩ
	応答時間	30msec

マグネチックセンサ入力 DT-5TVと組み合わせる場合は使用できません。

●接続 (端子台の接続)



注) NPNオープンコレクタの場合、⑮-⑯間はショートしません。  
 注) 接続図に記載されているセンサの実際の接続は1台です。